

(様式1)

平成30年5月21日

富山県教育委員会教育長 殿

富山県立石動高等学校

校長 安田 孝志

平成30年度学校経営計画を別紙(様式2・3)とともに提出します。

平成30年度 学校経営計画

1 学校教育目標

本校の校訓である「自主・誠実・実践」の具現化を図るため、日々の地道な学習活動や様々な体験を通して、自律の精神や好ましい人間関係を身につけさせ幅広い人間力と実践力を養い、社会環境に柔軟に対応できる人材を育成する。

普通科と商業科のそれぞれの教育力を生かした校内連携により、地域社会を担いグローバルな社会で活躍できる人材を育成する。

生徒が夢や希望をもって高校生活を送り、学びの中での成長が期待できるように校内外の活動に積極的に参加させることで、社会生活に必要な基本的な考え方や社会の急速な変化にも対応できる柔軟な考え方を身につけさせ、主体性と実践力を備えた人間の育成を目標とした学校をめざす。

2 学校の特色

本校は大正13年に開校され、本年度、創立94周年目を迎えた全日制高等学校である。地域の要請と様々な期待に応えるべく、地域に密着した学校づくりを進めている。現在、全学年とも普通科3クラス、商業科1クラスが設置され、全校生徒数は476名である。就職者は例年10名程度で、その他の生徒は上級学校へ進学する。普通科では、文系・理系に分かれるだけでなく、多彩な選択授業を展開することで多様な進路の実現に応じている。商業科においても進学する生徒が多く、進学に適したゼネラルコースと、専門性を高めるキャリアコースに分かれている。

また、部活動では、インターハイ等の全国大会で数多くの優勝経験のあるホッケー部を筆頭に、多くの部が全国大会を目指し活動している。

3 学校の現状と課題

生徒は概ね素直で純朴だが、全体的に教員に依存する傾向があり、学習や諸活動への主体的な努力や意欲の高揚が求められる。特に、学習習慣の定着や意欲の継続の点で改善すべき課題が多い。基本的な生活習慣の確立とともに、より効果的な支援・指導が必要である。

また、地域に信頼される学校としての役割を果たすために、地元の中学校からの入学率を高める取り組みを考えていくとともに、生徒一人ひとりの進路実現に向け、指導・支援を行い、生徒の満足度を高めるなど、より魅力ある学校づくりに努めることが大切である。

課題として、以下のことをあげる。

- ・生徒が生涯にわたって学び続ける基礎を作るために、学びの本質を把握し、教師の専門性を高め、教科指導力の向上を図る。
- ・国公立大学等に合格できるよう生徒の基礎学力の定着を図る。また、それをサポートする進路指導体制を構築する。
- ・地域との連携を深め、人間性・社会性の育成を図る。
- ・国際交流やボランティア等の特別活動の充実を図る。